



鉄沢中部小学校だより

せおと

平成24年2月16日 №13 発行者 校長 岡崎純子

動物を育てる

1年生の国語の教科書に掲載されている『どうぶつの赤ちゃん』を執筆している上野動物園長、よこはま動物園ズーラシア園長の増井光子氏（昨年7月に急逝）がズーラシア園長時代に次のような話をしてくださいました。

動物園は、45年間の歴史の中で社会的役割の変化が見られます。以前は珍動物などを見せることが主でしたが、今は、野生から連れてくることはほとんどなくなり、動物園という安全なところで種の保存をする場となり、環境を守る大切さを知らせる環境学習の場となってきています。種の保存とは、二世、三世を育てるにはどうすればいいかと言うことです。

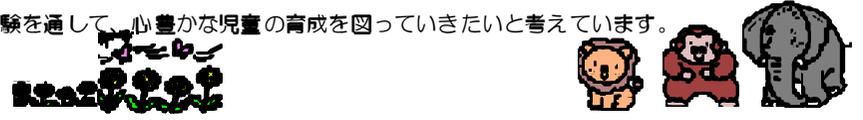
ズーラシアでは、137種類の食材からそれぞれの動物にあった献立を作成しています。心理面で大切なことは、ライオンならライオンらしく自覚を持たせるように育てます。つまり、自分が何者であるかという自覚を持たせるようにします。それは仲間から学習します。親、兄弟、同族の仲間の順に影響が大になります。餌となる獲物からも学習します。運動も大事です。親が育てたほうが体が締まります。人間が育てると体重はありますが、いわゆるゆるい体形になってしまいます。

また、知能が高いチンパンジー等は社会性を育てなくてはなりません。子どもは大人たちを見て育ちます。動物園では野生に比べて食事時間が短いです。食べ物は、努力しなければ手に入らないということを学習させます。また、我慢をするということをはかにかに教えるかということも大事です。チンパンジーを例にとると、強力なオスがわがままなチンパンジーの力を押さえなければ暴君になってしまいます。これは、人間が教えることはできませんので仲間同士で考えさせます。動物もトラブルを起こすことをいやがりまますので、けんかがひどくなるとボスが仲裁にやってきます。つらい思いをした時は母の所に行き、手を握ってもらったり、抱いてもらったりします。

動物園の動物は、人との関わりがあります。人の手で育てた象は、大きくなって手に負えなくなります。象としての社会性は、象の中でしつけ、子象は親の振る舞いを見て人との関わりを学習します。人と働く親を見て育った象は、人が何を要求しているのか、知らず知らずのうちに学習しています。

10歳で野生から動物園に来たカバは、野生で苦勞してきたせいか手のかからないカバでした。動物園育ちの子どもたちは、我慢ができません、ちょっとした変化にも大騒ぎします。このようなことから、動物園の動物にはさまざまな体験をさせたいと考えています。

仲間同士でしか教えられない「種としての自覚」について深く考えさせられたお話です。私たち人間も人との触れ合いを通して、人間らしさや人間としての生き方を学んでいくのではないのでしょうか。学校の教育活動も然り、さまざまな体験を通して、心豊かな児童の育成を図っていきたくと考えています。



PTA親子学習会「ぶっくん座 おはなしかい」を2月10日（金）に開催しました。ぶっくん座は身延町立図書館のボランティアのメンバーです。図書館に子どもたちには絵本の読み聞かせをしたり、学校や保育園では「出張おはなし会」を行ったりしています。

本校での演目は、ブラックバナナシアター「蜘蛛の糸」（茶川龍之介作）、大型絵本「花さき山」（斎藤隆介作）、読み聞かせ「おはなさい えりまき」（角野栄子作）、新聞紙を使った素話「火事」です。ますます、はらはらしたり、どきどきしたり、やさしい気持ちになったりなど心豊かなひとときを過ごすことができました。

蜘蛛の糸の一場面です



ぶっくん座のみなさんへ

ぶっくん座のみなさん、読み聞かせをしてくれてありがとうございます。私も、「火事」というお話がおもしろかったです。新聞紙が消防士の帽子になったりはすごかったり、ポーターです。最後に救命胴衣になってびっくりしました。また、機会があったら中部小に来てください。

きょうは、ぶっくん座の方たちが来ていろいろな話を読んでくれて、とても楽しかったです。ほくは、「おはなさい えりまき」のお話が一番おもしろかったです。来てくれてありがとうございます。

二月二十日には、お忙しい中、中部小に来てくださってありがとうございます。私はいずれあひ集会で「花さき山」を朗読したけれど緊張してぼう読みになつてしまいました。どうしたらあんなにうまく朗読できるんだろうと思つて、まねしてみたいなと思いました。楽しいおはなし会をありがとうございました。

児童館 出前講座 PART3

3回目の出前講座では、「オリジナル石けん」づくり、バナシアター、そして、町民生活課環境担当による「エコってなあに？」の学習会をおこないました。

リサイクルに関するクイズを通して、家庭から出されたゴミがどのように変身するのか考えて答えを出していました。また、オリジナル石けんは簡単で、きれいに作ることででき、ラッピングをして大切に持ち帰りました。



3回を終えて、感想や御礼のことばを全員が言いました。感想を述べるということ事前に知らせてなかったですが、その場で考えて全員がしっかり言うことができました。4人の講師の方々も感激し、涙を流しながら聞いてくださいました。



いきいき教育地域人材活用推進事業「条幅習字」 講師は西室厚子先生



毎年、西室先生に指導していただいています。2時間集中して練習すると、上達しますね。階段横の壁面に掲示してありますので、御覧になってください。



町議会議長の望月邦彦さん、町教育委員長職務代理者の中村高志さん、本日はお忙しい中、この中部小学校においていただきありがとうございます。
 議長さんや中村さんは、運動会やふれあい集会などの行事や私たちの授業の様子を何度か見に来てくださいました。そして私たちが学習したり活動したりしやすいようにと施設や設備を整えてくださって、ありがとうございます。
 体育館の雨もりを直していただいたので雨の日でも思い切り運動することができまし、きれいなプールがあるので、みんな泳ぎが上手になりました。恵まれた環境の中で学習することができる私たちは、本当に幸せだと思います。学習にも運動にも行事にも、今まで以上にがんばっていきたいと思います。

依田校長先生、田植えや稲刈り、稲こきなどをさせていただき、ありがとうございました。
 田植えでは、3本ほどの苗をまとめて植えることがわかりました。稲刈りでは稲の刈り方や束の結び方を教えていただき、楽しく興味を持って体験できました。農業にたずさわる人の高齢化や野生動物による被害など、箱原地区の農業の悩みもよく理解できました。

スクールガードの保坂さんには、先生たちの研究会の折に迎えに来ていただき、ありがとうございます。バスで下校となると1時間ぐらい待たなくてはなりません。帰りながら保坂さんと話をするのが楽しいです。雨が降っている時にも私たちのために迎えに来ていただき、ありがとうございます。

学校評議員の齋藤さん、雨宮さん、今日はお忙しい中、ありがとうございます。
 担任の先生が、「学校評議員さんは緑の下力持ち」のような仕事をしていまして話してくれました。私たちの気づかないところで学校の活動を見守ってくれているのですね。学校がよりよくなるように、私たちが学校で楽しく勉強やスポーツ、遊びができるように考えてくださり、ありがとうございます。

小林先生には、バランスのよい栄養のある給食を作ってください、ありがとうございます。しかも日々違う献立で温かい食事を作ってくれるので体が温まります。
 柳沢さん、いつも安全に給食を届けてくださって、ありがとうございます。学校に來れば僕たちの盛りつけの様子を見ただけなので安心します。



校庭の整地と草とりを、少ない職員で定期的に行うことは大変なことでした。笹本PTA副会長の紹介でゴルフ場で使うカートを備え付けることができました。そして、上の写真にありますような車庫も新設しました。一瀬教頭先生が半日かけて組み立てました。

これから春を迎えますので、草との戦いに大活躍してくれることでしょう。整地も行いますので、一輪車走行もスムーズになることでしょう。

これって、なに？ ↓



本校の教育活動に御支援、御協力をいただき感謝申し上げます。これからもよろしくお願ひします。上記は子どもたちの御礼のことばです。